



ファイト・シリーズ 使用ポイント

●キュウリ●

使用時期	使用方法	使用目的
育苗時	① 接木後から ファイト・オーツ + ファイト・カル 各1000倍液を混用散布 ② 以降定植までに、約7~10日おきに ファイト・オーツ + ファイト・カル 各1000倍液を混用散布	植傷み防止 徒長防止 毛細根の充実
定植時	③ 定植時の苗を ファイト・オーツ 1000倍液に根部ドブ漬け処理 ④ 以降、主枝ピンチまで ファイト・オーツ + ファイト・カル 各1000倍液を混用で1約10日おきに葉面散布 (農薬混用可) ⑤ 主枝ピンチ以降 ファイト・メット を月2~3回灌水処理 ※反当150gを500リットル程度の水で灌水施用	活着促進 変形果防止 着果促進 成り疲れ防止 樹勢維持

さらに...

※栄養不良からくるべと病対策には...



エレマックス 0-28-26 1000倍液を7日~10日おきに2~3回散布

※その他、整枝後など株にストレスがかかる場面で...



ファイト・オーツ + **ファイト・カル**
各1000倍液を混用散布

《使用上のお願い》

- ・【オーツ】、【カル】は殆どどの登録農薬との混用は可能です。
- ※ただし、【カル】には保湿浸透剤が入っておりますので、浸透性の展着剤と混用が出来ない農薬と混ぜて使うことは出来ません。あらかじめ、農薬のラベルの注意事項を確認のうえ使用してください。(アゾキシストロビン剤、クレソキシムメチル剤、フルジオキシニル剤等)
- ※また【カル】使用時は、液肥やホルモン剤の混用も避けてください。
- ・散布はなるべく午前中に行なってください。



製造・販売元

株式会社ファイトクローム

〒102-0082

東京都千代田区一番町22-1セントラルビル5F TEL 03-3556-8720 FAX 03-3556-8721

www.phyto.jp

●キュウリ●こんな時には・・・

1. 成りづかれのとき

(原因) 根傷み、同化養分の不足

(対策) **ファイト・メット** を灌水施用

→(2～5日後) **ファイト・オーツ** **ファイト・カル** を混用散布

★メット灌水後、数日間あけて液肥の灌水をすると より効果的です。(過湿に注意)

2. 徒長ぎみのとき

(原因) 高夜温、低温多湿、日照不足

(対策) **ファイト・オーツ** **エレマックス 0-28-26** を混用散布

3. 樹勢が落ちたとき

(対策) 基本的には「成り疲れ」と同じですが、
いつも同じ時期から樹勢が落ちるようであれば、
早めの時期から **ファイト・オーツ** **エレマックス 4-30-20** の
定期散布(およそ10日おき)をオススメします。

4. 尻ぶとり

(原因) 樹勢低下、カリ欠

(対策) 収穫が最盛期になると草勢が低下し、尻太り果が出だすので

ファイト・メット 灌水の3～4日後に液肥灌水し、

同日～翌日 **ファイト・オーツ** **エレマックス 0-28-26** を混用散布

5. 先細り 曲がり果が多くなったとき

(原因) 高温乾燥、同化養分の転流不足、
過度の摘葉、受精障害(とくに単為結果性の強い品種)

(対策) 乾燥ぎみのときは灌水してから

ファイト・オーツ **エレマックス 0-28-26** を混用散布

過度の摘葉は控える。

【基本的な使用方法】

- **ファイト・メット** …反当150gを2週間おきに灌水処理。
★より効果的→1回目と2回目の間隔のみをやや短めに(7～10日)
- **ファイト・オーツ** **ファイト・カル** **エレマックス 0-28-26** **エレマックス 4-30-20**
…1000倍で7～10日おきに葉面散布。
★より効果的→1回目のみ500倍、散布間隔は短めに(5日程度)